

1. **BOOK** 聖徳太子が、大乘仏教の経典に注釈を付けた書。 1
2. (仏の眼から見たら) 全ての人と同じように迷っていて、「平等におろか」な人間を表した言葉。聖徳太子の強調した「和」の精神の前提。 2
3. **WORD** 聖徳太子の世界観を示す言葉。このような仏教的世界観によって、現世的な日本人の世界観を超越したといえる。 3
4. 奈良仏教や平安仏教の特色で、国家統治のための手段を強調した仏教。 4
5. **PERSON** 奈良時代に諸国で民衆に布教した僧。道や橋をつくり貧民を救って、「菩薩」と呼ばれる。東大寺建立に参加。 5
6. **PERSON** 平安時代に入唐(にっとう)し、比叡山延暦寺に天台宗を開いた僧。 6
7. 中国仏教(大乘仏教、北伝仏教)を山岳宗教などの民間信仰と結びつけ、日本的で現世利益的な仏教の土台を作った二大平安仏教(密教)の一つ。最澄が開祖で、法華経が中心。仏教教学を体系化したため鎌倉仏教もここから出た。 7
8. 得度(受戒して仏門に入ること)制度を改革し、日本が大乘仏教国であることを名言した最澄の教え。 8
9. 仏道を求める心が国の宝であるとし、全ての人が仏になれる(一切衆生悉有仏性<いっさいしゅじょうしつうぶっしょう>)と説いた最澄の思想。 9
10. **PERSON** 平安時代に入唐し、高野山金剛峰寺に真言宗を開いた僧。 10
11. 中国仏教(大乘仏教、北伝仏教)を山岳宗教などの民間信仰と結びつけ、日本的で現世利益的な仏教の土台を作った二大平安仏教(密教)の一つ。空海が開祖で、密教経典が中心。 11
12. **BOOK** 儒教・仏教・道教を比較して、仏教を最上と主張した空海の主著。 12
13. 瞑想によって大日如来(宇宙の大なる生命)と一体化(入我我入)することを空海が表現した言葉。 13
14. 即身成仏の境地を図像化したもの。広義では仏教の世界観を表現した絵画など。語義: サンスクリット語で「宇宙の真理を表現したもの」 14
15. 空海が方向づけた古神道と仏教の融合。奈良時代に始まり、平安末期には本地垂迹説、鎌倉時代には反本地垂迹説が出現。神道思想の体系化と仏教の民衆への浸透に大きく寄与。 15
16. 山岳信仰が仏教・道教の影響下に体系化されたもの。修行僧が加持祈祷きとうなど呪術的儀礼を行う。天台・真言宗の密教僧の修行で活発化。 16
17. **PERSON** 7世紀? 修験道の開祖とされる。役行者(えんのぎょうじゃ)とも。 17

T. Q. 「国家仏教からの脱却に寄与した平安仏教とは？」

T. A.

国家仏教による仏教の形骸化を脱却するために、最澄は中国から天台宗を伝えた。彼は大乘菩薩・戒を説き、日本が大乘仏教国であることを示し、日本の密教はここから始まった。また、空海は真言宗を説き、即身成仏や曼荼羅によって密教を完成させ、神仏習合への方向づけを行った。